



# PDF印刷に関する 出来そうで出来なかったこと

**プランセスPDF印刷 Plusのサンプル**

# ①印刷時にパスワードを入力させたい

- 「閲覧自体は普通に開けるようにして、パスワードを知っている人しか印刷できないようにする」という、ありがちな要望に応える製品が意外とありませんでした。
- 既存の従来商品でも、印刷を許可する人にだけ編集パスワードを教えて、オープンパスワードを設定したPDFで、「印刷したい場合はオープンパスワードではなく編集パスワードを入力してください」のように限られた人にだけ伝えておけば、確かに、限られた人だけ印刷が可能になりました。
- **【従来製品の問題点】**しかし、編集パスワードを知っているということは何でもできることを意味し、印刷だけ許可したい場合には、権限を与えすぎという問題がありました。また、ただ閲覧したい人にも一律パスワード入力を強制しないといけませんでした。

# このPDFの印刷用パスワードは、

- pdf2016 です。

## ②印刷時に許可するプリンターを制限したい

- せっかく制限付きのPDFでテキストのコピーを禁止していても、PDF作成用のプリンタードライバーで「印刷」すれば、PDF2PDF（PDFをPDFとして出力する）が可能であり、「ただの」PDFになってしまう場合があります。
- 印刷を許可しない限りはそういう心配も基本的にはないのですが、どうしても印刷を許可しなければならない場合もあります。そこで、Canon社やEpson社などのいわゆる普通のプリンターでの出力のみ許可し、バーチャルプリンターやプリンタードライバーでの出力は禁止したいという要望がありました。
- **【従来製品の問題点】**しかし、従来の既存製品ではプリンターまで制限することは難しく、利用者の良心に任せるしかないという問題がありました。

※ この機能はWindows専用です。Macでは動作しません。

# このPDFでは、

- いわゆるPDF作成ソフトのプリンタードライバーのほとんどはブロックできていると思います。
- ブロックしたいプリンター・プリンタードライバーはユーザーが追加編集できます。
- Microsoft XPS Document WriterやSend to Onenoteも禁止しています。また、Windows 10の「Microsoft Print to PDF」もブロックできます。

## ③印刷に関するログを取得したい

- 印刷は許可するけれど、誰がいつ何を印刷したかは把握しておきたいというご要望に応えることのできる機能も提供します。印刷終了時に、特定のログ取得用ページにアクセスさせることが可能です。
- a. プリンター名（プリンタードライバー名）
- b. 印刷した文書のフィル名・総ページ数・ファイルサイズ。  
（何ページから何ページを印刷したかは分かりません。）
- c. Adobe® Readerのバージョン。Acrobat® ProfessionalかReaderかの区別  
などを取得できます。

保護対象のPDFはWEBに限りません。

御社アプリケーションへの組み込みなど

ご相談は、株式会社プランセス

([support@pdf-nosave.com](mailto:support@pdf-nosave.com)) まで。

